

メンテナンスモデルのご案内

サーモコイルは作動に動力を使わず、また、交換部品も無い為、特段のメンテナンスを必要とせず、長い間お使いいただけます。ただ、気体にダスト等が多く含まれる場合、伝熱面へのメンテナンス対策を施します。

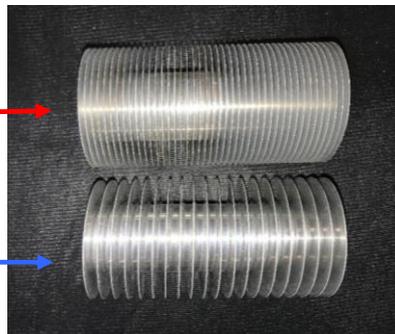
ご提案・提供してきましたメンテナンスモデルの一部事例をご紹介します。

フィンピッチ対策モデル

気体にダストが多く含まれる場合、フィンチューブのフィンピッチを通常より広くすることで、目詰まりを防ぎます。

11フィン/インチ

5フィン/インチ



点検窓モデル

伝熱面に付着したダストを高圧洗浄機等で効率よく除去できるよう、サーモコイルフレームに点検窓を設け、定期的な洗浄を行えるようにします。



スートブローモデル

サーモコイル内にスートブローアを内蔵し、定期的に高圧エアや蒸気などを伝熱面へ吹き付けることのできるタイプです。手動弁タイプと、遠隔から制御できる電磁弁タイプがあります。

